

# JAITI 42

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL [jaiti@janis.or.jp](mailto:jaiti@janis.or.jp)

JAITIとは、「公益財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発 行 公益財団法人 日本農業研修場協力団  
事 務 所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5  
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

## 今日のジャイチ

雪化粧をした美ヶ原の山並みも、ヒマラヤに劣らぬ美観を見せています。

昨年は、引き続きの災害に加えて世界的な経済の減速と厳しい社会情勢に遭遇しました。まだまだ、回復までには時間が必要になるといわれていますが、私たちの中に「絆」の大切さが再認識されるようになりました。

派手な暮らしには縁遠くとも、共に支え合いながら懸命に暮らしているネパールの人たちの姿に学びながら、本年も皆様と共に、ネパールの発展に少しでも力添えできるよう知恵を絞っていきたいと思います。皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



▶ジャイチ事務所から望む美ヶ原

### ◆学校支援は

レカリ・バシファント学校の公立校への移管は、学校、運営委員会及び政府関係者のご努力により順調に行われています。これまで関わってきたジャイチの支援と協力への感謝をいたたくとともに、これからも、「産みの親」として暖かく見守って欲しいとの願いが寄せられています。

カカニ・ブライター学校では、現在八学年まで、幼稚園二クラスを含めると十クラスの300名が学んでいます。父兄からは、十年生までの教育を受けさせたことの要望が強く、そのため教室が必要としてジャイチへの支援が望まれています。



▲滝 和美先生11月学校訪問持参した縄跳びで楽しく交流

昨年も大勢の支援者の皆さんが学校を訪れ、学校の様子を見ていただいたり先生、生徒と楽しく交流の時間を過ごされ、大変喜ばれました。

### ◆農業支援は

ネパールの農民からの強い希望もあり、再度、土屋興亜さんに農業技術指導をお願いしています。二十三年度JICAの支援事業も活用しながら、ムスタン郡ツクチェなどの農家の指導にご尽力いただく予定です。

### ◆スタディーツアーは

昨年度に引き続き計画いたしました。昨今の情勢からか、希望者が極めて少数となつてしまつたことから、実施を見合わせました。希望された皆さんには大変ご迷惑をおかけしましたが、本年は、大勢の皆さんが参加されることを期待しています。

## 事務局長 初めてのネパール記

十一月二十二日から二週間程、初めてのネパール訪問の機会をいただくことができました。ネパールでは、新憲法の制定がずれ込み、政治が十分に機能をしていない状況もあつて、時々、政府への抗議活動（バンド）などの実施が報道されていますが、徐々にではあるものの、平和への道筋が見えつつあるようです。（※三Pネパール情報参照）

人と車がひしめくカトマンズの市街、狭小な農地で力強く暮らす山岳部の農民たち、そしてどの町でも元気よく学校に登校する子供たちの姿が多いことなどなど、そして、庶民的目線で見たととき、まず、ゴミの多さにびっくり、道路も川もゴミの山。都市部の川は既に死の川と化し、あのヒマラヤの清流は水の色を失っていました。また、道路には車が溢れ、交通ルールは運転者同士の阿吽の呼吸で保たれるような、言ってみれば、これって何でも有りり？私の第一印象でした。

携帯電話やインターネットが急速に普及し農村部でもテレビが見られるようになり、生活が向上している部分もある反面、物価が高騰してきており、経済的な問題も出ているようです。ネパールも教育熱の高まりから、いたるところで学校を目にします。政府の設置によるもの、世界各地の支援によって設置されているもの、その中で、ジャイチが支援者のご厚意のもとに運営されているレカリ・バシファント校、ブライター校は教育の質、レベルも高い評価を受けています。やがて、卒業生らの社会活動によって新しいネパールが形成されていくことでしょう。日本の学校から見たら決して充実した教育環境にはないネパールの教室で、真剣に学ぶ学生たちの目差しに望みを託したいものです。

（事務局長丸山敏和）



▶レカリ・バシファント学校のスタッフとミーティング 左端が私です

# バスとホステル 経営で カカニブライター 学校は自活へ



▲ブライター学校の案内 (ホステル)

ジャイチはカカニブライター学校の先生たち及び経営者に非常に誇りを持っていきます。なぜならば、最近前記の者たちが学校の運営に責任を感じるようになりました。彼らはジャイチの指導、指示で学校運営に一所懸命頑張っています。先生たちの個人的な投資とジャイチの支援でバスを買った後、学生の人数も増え、同時に収入も増えて、学校運営の全ての経費が間に合うようになりました。今年度の予算では現在ではジャイチは資金を渡していません。経費の予算は二百

四十一万二千八十三ルピーなのに今年の収入はすでに二百四十八万一千七百ルピーです。これはすべて生徒の授業料からです。しかしジャイチはこれからの建設工事計画の施設に支援する必要があると見ます。



▲7年生の教室 狭いながらも仲良く学ぶ

現在教師たち一三人(女子七人と男子六人)、アシスタント三人(二人バスドライバー十アシスタント、ヘルパー二人)います。生徒人数は三〇〇人(男子二七一人・女子一二九人)。教育の質も高いです。ヌワコット郡の中で興味を引く学校になっています。郡の教育事務所がこの学校を一つのモデル学校として認めています。来年度は、九年生が増えるのもう一つ教室を作る必要があります。学校がその建設費を支援してくれる支援者を探しています。

(ビムラル・グルン)

## ◆訪問記

私たちはポカラのドウルガ神様で有名なビンダバシニ寺院をお参りし、それか

旅行の目的は、教科書にない知識の体験をする。色々な場所を見て体験し、勉強に反映させる。様々な文化、習慣、歴史的な知識、服装、言葉、社会的な人生等の知識を取得する。又、先生たちも学生と同じ体験・知識を得ることで教える能力が高まるなどです。

## レカリバシファント学校 学生たちの見学旅行

参加したクラス…9と10年生、先生数人  
旅行先…ポカラとゴルカ  
期間…2011年10月の21日から24日の3泊4日  
経費の出所…SMCCと学生福祉基金(学生の積立金)

カカニ・ブライター学校では、十年制を目標に運営をしています。あと二教室(来年度からの九・十年生)が必要と見ます。皆様の支援をお願いします。



▲貸切りバスでポカラ・ゴルカを移動、思い出に残る旅行となった

ポカラのビューポイントの山、サランコットへ行き日の出、アンナプルナ山、フィッシュテール山を見学しました。次にコウモリ洞穴の中の形、実際のコウモリとコウモリの数を見てとても驚き感動しました。それから、マヘンドラ洞穴へ行き、その中にあるお寺もお参りした後、フェワ湖へ行き、八台のボートでフェワ湖の中央にあるお寺をお参りしながら一時間以上も滞在しました。

三日目に私たちはゴルカを訪ねました。学生たちはそこで色々な歴史的、文化的な知識を得る事が出来ました。ゴルカでプリティビナラヤンシャハ王様の誕生場所・お城を見て大変感動し、当時のゴルカ兵の勇敢さ、その王様がネパールを統合したことを学びました。ゴルカでも一泊しました。今回の見学旅行に参加した学生の人数は五〇人で、女子二十八人・男子は二十二人。そして、先生は女子四人と男子九人でした。私たちはいくつもの団体に分かれて見学し、この旅行のために一台ボルボコーチバスを借上げていました。そのバスはとても快適で贅沢なバスでした。

私たちの四日間の旅行は、ほとん



この見学旅行はとても楽しく、思い出に残る旅行でした。きちんとした案内と監督で、学生全員が訪問場所から有効な知識を得ることが出来ました。

(先生記)

2011年6月21日〜2011年12月20日迄

順不同敬称略

## ご協力有難うございました

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

## ◆ 人的協力

〈東京都〉

安藤雅子、滝和美・三希子、  
田山豊實

〈神奈川県〉

小林みよ子

〈長野県〉

あーすの会、白井千鶴子、  
柿島明子、菊池健介、株式会社北澤土建、近藤美代子、  
櫻井功一、有限会社佐藤新聞店、有限会社大和印刷、  
田村佳織、田村由紀子、長

野合同経理センター、根岸

厚次・真貴子、松久よし子

〈愛知県〉

小園四男、山越千恵子

〈海外〉

ネパール ホテルサンセツ

トビユー・アルジュン・シ

ン／絃子・トラチャン、ウッ

タム・タパ

## ◆ 基金・維持費・事業費

〈北海道〉

小野倫夫、中川洋子、長嶋

聡・みどり

〈宮城県〉

森甲志

〈福島県〉

岡村健

〈栃木県〉

大橋啓子・秀允、森聖哉

〈群馬県〉

橘真智子

〈埼玉県〉

小澤昭信、小野美津男、加

藤美恵子、斉藤節子、須田

清、坪田美恵子、春木宏介、

藤井英雄、本庄東高等学校

生徒会

〈千葉県〉

専念寺、高橋節子、吉田季

子

〈東京都〉

池田圭伸、石田昭夫、今井

正史、大田原房子、大和田

一紘、河野節子、鎌倉恵子、

黒田秀基、木村慈子、新海

泉、須藤節子、滝和美、中

嵜いづみ、西岡巖、西重正

博、野村明賢、正田英子、

松田重箕、守谷照美

〈神奈川県〉

井上秀夫、柴田初子

〈山梨県〉

高田清一

〈長野県〉

株式会社アオヤギ印刷、市

村光志、有限会社うづら家

徳武敏幸、内山富之、小山

田秀士、金子元昭、菊池健

介、黒沢勇人、高本洋子、

小林晁、小林淳、小林展子、

小林公治、齋藤敏、澤山啓

司、鈴木佳代、国際交流フェ

スティバル in SAKU、

竹内克彦、武田順治、土屋

信子、株式会社長門牧場代

表取締役小林久雄、長野県

連合青果株式会社、中村彰、



絵：マン「厳寒期のシラミとり」

## ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。  
皆様方からのご寄附に対し、所得税法・法人税法上の優遇措置を受けることができます。以下に説明致しますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

## ジャイチの基本的財源として

一般寄附とは、皆様よりいただいた寄附金を、ジャイチの公益活動を維持・継続していくための財源として、受け入れるものです。寄附金の用途・内容については、ホームページ記載の決算書等により、皆様にお知らせ致します。

その中より剰余資金が発生した場合は、今までどおり基金として繰り入れいたします。基金は、投資信託、外債、国債などで運用し、その果実（利息）でジャイチの財源を安定させ、ジャイチの活動をよりいっそう強固な活動につなげることが出来ます。

## 特定寄附金の募集

新たに大きい費用のかかる事業を計画した時に、その応援費用として確保することを目的としています。

■特定の事業において、資金が必要なときに皆様にお願いのお知らせをさせていただきます。

## 所得税法、法人税法の優遇措置

公益財団法人は、すべて税制上の特定公益増進法人となり、寄附していただいた金額は、下記の寄附金優遇措置の対象となります。

## ●個人の方が支出する寄附金の場合

所得税について ①、②のいずれかを選択してください。

## ①所得控除

その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額が総所得金額等、退職所得金額又は山林所得金額より控除できます。（但し支出した寄附金の合計額がその年分の所得金額の40%を超える場合は所得金額の40%を限度とします。）

## ②税額控除

その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額の40%が所得税額から控除されます。（但し支出した寄附金の合計額がその年分の所得金額の40%を超える場合は所得金額の40%を限度とします。）ジャイチよりお送りする「税額控除に係る証明書の写し」を申告書に添付してください。

## 住民税について

その年中に支出した寄附金の合計額より5千円を差し引いた金額に控除率を掛けた金額が所得金額より控除できます。（但し支出した寄附金の合計額がその年分の所得金額の30%を超える場合は所得金額の30%を限度とします。）

尚、住民税の寄附金控除の対象は各県又は市町村の条例で指定された寄附金のみが対象となりますのでご注意ください。上記優遇措置を受けるには基本、確定申告が必要です。（税法の改正等がありますので、詳細は税務署にお問い合わせください。）

## ●法人の方が支出する寄附金の場合

一般の寄附金とは別枠として{(資本金×0.25%+課税所得×5%)÷2}の金額が損金算入されます。

申告書の記載等、一定要件を満たす必要があります。

## ●遺産相続時による寄附

遺産相続した方が遺産の一部を寄附した場合、寄附金額全額が、課税対象金額より除外されます。

寄附金の金額についての規定はありません。お一人お一人ご自分で決めて下さいますようお願い申し上げます。

## 郵便振替・銀行振込での募金

- お振込先 ◎郵便振替 00510-4-65434  
◎銀行振込 八十二銀行 丸子支店 (普)420577  
口座名 公益財団法人 日本農業研修場協力団

中村由美子、有限会社花岡  
代表取締役花岡かつ子、増  
田シゲミ、松林進、松久よ  
し子、国際交流フェスティ  
バル in MARUKO、宮  
澤令行、宮下静子、依田保  
ジャイチ事務所寄付金箱

〈新潟県〉  
帯瀬憲五、小森修

〈静岡県〉  
伊熊武夫、宇佐美慶一、宮

崎哲至  
〈愛知県〉  
浅井延子、伊藤正裕、尾上  
昇、加藤武彦、神田孝子、  
藤原純子、本庄周子、安田  
美奈子

〈滋賀県〉  
岩戸開治、岡田千尋

〈京都府〉  
田中伊三雄

〈兵庫県〉  
玉岡昇治  
〈和歌山県〉  
中前孝啓

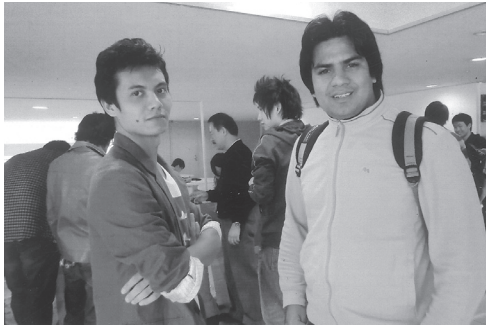
〈山口県〉  
医療法人おのおの小児矯正歯  
科理事長大野秀夫

〈福岡県〉  
山下きよし

〈鹿児島県〉  
福吉功

# 日本での生活

バシファント学校 卒業生  
ウッタム・タパ



▶ウッタム・タパさん(右)  
日本語学校(渋谷区)で友人と  
学校は新宿駅から徒歩10分

今回、日本には今年の三  
月三十一日に来日しまし  
た。三月十一日の東北地震  
災の後でしたので、なんと  
なく不安はありましたが、  
来てからは何の問題もな  
く、今は東京工学院日本語  
学校に通っています。学校  
の授業は、午前九時半から  
午後三時一〇分までです。  
神田にあるドミトリー(一  
部屋に数人で居住)に住ん  
でいます。

今回日本に来た私の目的  
は、もつときちんとした日  
本語を覚えたいからです。  
もつと漢字を勉強して、日  
本語能力試験のN01を取  
りたいです。今は漢字に力  
を入れて勉強をしています。  
今年(2011年)の十二月四日に  
りあえずN02を受け、来  
年七月には日本語能力試験  
のN01を受ける予定です。

日本では日本語を勉強し  
て、日本語を使える仕事を  
ネパールでしたいです。観  
光の仕事を目指していま  
す。ですから今、とても頑  
張っています。目的に向  
かって毎日学校に通ってい  
ます。そして、アルバイト  
もしています。夜、クロネ  
コヤマトで、一週間二十八  
時間、やっています。大変  
ですが、がんばります。

留学している間に、いろ  
いろ市川薫さん(里親)、  
ジャイチの小林みよ子・剛  
様、そして他にも多くの  
人々のお世話になっていま  
す。みなさまに、感謝をし  
ています。本当にありがと  
うございます。最後にいま  
までお世話になったジャイチ  
に本当に心から感謝しま  
す。

(二〇一一年二月)

## ◆ 寄附品

・ジャイチネパールへ直接  
川島実、滝和美・三希子

〈北海道〉  
河田三千子、菊池隆司・隆子

〈埼玉県〉  
馬場友子

〈群馬県〉  
南場宏子

〈千葉県〉  
青木洋、鎬恵子、紅谷均

〈東京都〉  
市川薫、小野塚敏、棧康子、  
鎌倉恵子、小山美恵子、坂  
本千春、滝和美、泰洋薬局、  
ネパールの子供達に文具を  
届ける会、山縣敏子、山田  
まゆみ

〈神奈川県〉  
上村陽子、鈴木規子、橋本  
敬子

〈長野県〉  
あーすの会、市川恵美子、  
有限会社美ヶ原燃料、白井  
千鶴子、菊池健介・道子、  
国際交流フェスティバル in  
Saku、有限会社大和  
印刷、滝沢英子、田村佳織、  
田村由紀子、長門郵便局、  
舟木公策、松久よし子、宮  
下静子、山崎さち、依田窪  
南部中学校

〈愛知県〉  
浅井延子、後藤康洋、松本  
潤子、村瀬政子

〈滋賀県〉  
苗村善和

〈大阪府〉  
株式会社かんぼう

〈兵庫県〉  
丸尾信

〈高知県〉  
前田和美

〈佐賀県〉  
平尾紀美子

〈ネパールへ直接〉  
大和田ナヲ子、  
小園四男、滝和美・  
三希子、  
山越千恵子

バザーをありがとうございました。

- ・あーすの会 (長野県佐久市)
- ・国際交流フェスティバル in Saku (長野県佐久市)
- ・国際交流フェスティバル in Maruko (長野県上田市)

ありがとうございます。  
これからも宜しくお願いし  
ます。



▶佐久と丸子の  
国際交流フェスティバル参加

左 野沢小学校から助っ人  
木内環ちゃん頑張る  
ネパール紅茶の試飲が  
好評でした

右 晴天に恵まれ、野外テ  
ントで展示・バザー

# ネパールに 平和プロセス

二ヶ月前から、バブラム・バッタライ氏を代表とする最大与党のマオ主義党と連合マデェシ党が連立政府を樹立し、四九人の大臣を組閣のネパールでは歴史の中で最大の内閣です。

二〇一一年十一月一日に、主要な政党が軍の統制、憲法の作成と権力の役割を歴史的な合意により契約書に署名することにによって、最終的に待望の進展を得ました。

マオ主義党の議長プシュ



▲初冬の日溜まりで大根の切り干しを背に一休み

パカマル・ダハル(プラチャンダ)、ネパールコンGRESS党の議長スシル・コイララ、CPN-UML党の議長ジャラ・ナート・カナール、連合マデェシ党の議長ビジャヤ・クマル・ガツチエダルたちが署名したその契約書が、マオ主義党の戦闘員をネパール軍に連合するような論争的な問題を解決し、平和プロセスを完了させ、同時に憲法の作成手続きにより国の合意協定に調印します。

新契約書によると、マオイスト戦闘員とネパール軍の統合、戦闘員たちの自主的な引退と社会復帰、それから強奪された財産の返還の続きはすでに始められています。

今回七つの政党が署名した契約の作成で具体的に平和プロセスが完了し、平和の扉が開きました。その扉は三年前、二〇〇八年四月の憲法集会選挙から閉じたままでした。最大政党の代表たちが、マスコミ経由で、その契約書に署名し、約束を果たすことを公表しています。実現出来れば、平和プロセスが成功するでしょう。(ビムラル・グルン)

## 「私の2011年3月11日」

マン・バハドール・シュレスタ



▲ダウラギリ峰(8,167m)を望むムスタンの村

ません。ゴンドラに乗っているお客さんはキャンピンの中に閉じたままの状態です。やがて地震が収まりました。その日、私は福島県会津のアルツ磐梯スキー場のゴンドラ山頂でお客さんを誘導していました。午後三時を過ぎたところでした。揺れました！周りの風景がかなり揺れましたよ！日本に來てから小さな地震は何回も体験していましたが、今回は日本人も体験していない地震を迎えました。ゴンドラのキャビンがすぐ揺れましたので一番に停止ボタンを押して運転を止めました。壁のガラスが割れる心配で外へ出たら目の前に山の壁がある。今度はまだれが起きる心配で、山頂付近で騒いでいるお客さんを早く降りて行くようにお願いをしました。しかし、お客さんたちは思い通り急ぎません。

ひどい揺れは10分以上続きました。その間ゴンドラを再開運転出来る訳があり

ので一分で5mの速度でゴンドラを回し、乗客皆を降りして家に電話をしようと思つたら繋がらない。事情は分かっていたが、いつもの年なら三月末まで運行なのに、今回はその日でスキー場は最終日になりました。家に戻ると女房が玄関にペタンと座って、私の帰りを待っていました。家の中は肌足で歩ける状態ではありません。棚から食器など色々なものが落下してめちやくちゃ。たびたび余震が続いているのかたづけるのも無駄。歩かなければいけない所だけ掃除・かたづけをして後はそのまま五月まで。

テレビでニュースを見ると、もつと恐ろしい現実が見えた。太平洋側の津波が思い切り、人・町・村を飲み込んでいた。それと比較すると内陸の会津若松に

息子を連れてネパールへ帰国する計画を持ち、南の方へ向かいました。次の日新大阪に泊まりました。

次の日は、加古川の三井津さん宅でお世話になりました。

三月十九日には原発の近くまで人間が近づき、放水することが出来たとのニュースを聞いて一安心し、ネパールへ帰国する予定を中止しました。翌日また栃木県に戻り、それから二十二日に会津若松へ。二度と戻ってこれないかな！と思つて玄関で一滴涙をこぼして出掛けた私には、会津若松はとても懐かしくもつと好きになりました。

これまで書いた事は私のいち個人の事です。東日本太平洋側の人々の状況に比較するとんでもない話です。たくさんの方々命・家族・家・財産を無くされました。心よりお見舞い申し上げます。亡くなられた多くの方々の心の平和のためお祈りしています。(福島県会津若松市)

### ●マンさんの略歴

一九九五年より二〇〇八年までジャイチネパールの中枢、支配人をつとめ、現在は福島県で家族と在住

# 事務局だより

## ▼ジャイチ

- 7月
  - ・機関紙41号を発送(約1300通)
  - ・内閣府へ理事変更届出書を提出
- 8月
  - ・国際交流フェスティバル in Maruko実行委員会に出席
  - ・内閣府へ寄附金の税額控除に係る証明の申請書を提出し、9月9日認定される
  - ・JAICA基金の農業指導補助金申請
- 9月
  - ・国際交流フェスティバル in Maruko実行委員会2回目と準備
  - ・国際交流フェスティバル in saku参加団会議に出席
  - ・駒ヶ根研修
  - ・ジャイチツアー最小催行人員に満たないため中止
- 10月
  - ・国際交流フェスティバル in sakuに参加(長野県)
  - ・国際交流フェスティバル in Maruko参加(長野県)
- 11月
  - ・JAICA基金内定
  - ・機関紙企画会議
  - ・丸山常務理事が総合指導でネパールへ出張
- 12月
  - ・機関紙42号企画・編集
  - ・信州グローバルセミナー2011参加
  - ・あーすの会さんが事務所訪問され寄付品を届けて下さる
  - ・理事会 上半期事業状況報告

## ▼ジャイチネパール▼

- 7月
  - ・両学校定期試験実施
  - ・両学校夏休みに入る
  - ・ジャイチネパール事務所建物の修理
- 8月
  - ・ネパール議会第1党より首相が選出された
  - ・レカリ・バシファント学校の黒板と屋根の修理
  - ・ライター学校SMCC(保護者会)設立と郡の教育事務所より学校の調査入る
- 9月
  - ・マオイストによる交通閉鎖
  - ・ネパール・インド地域で6.9の地震発生6人死亡
  - ・レカリ・バシファント学校でサッカーの試合と詩のコンテストを実施
  - ・デザイン祭り休暇
  - ・レカリ・バシファント学校の卒業生の送別会を郡の教育事務員等立会いで実施
  - ・ライター学校絵画コンテスト
  - ・SLCの追加試験の1名合格全員(14人)の合格となる
- 10月
  - ・バスの転落事故発生
  - ・デザインとティハール祭休暇
  - ・レカリ・バシファント学校の9・10年生が3泊4日でポカラとゴルカへ見学旅行
  - ・ライター学校に郡の教育事務所から監督訪問
- 11月
  - ・在留邦人の避難訓練の実施
  - ・丸山常務理事総合指導で訪ネパールのご案内・会議等
- 12月
  - ・計画停電週40時間(1日約6時間)

## ささやま 篠山ナマステ会 との交流 兵庫県篠山市



▲篠山ナマステ会で講演する小林理事長

私は、丹波地方特産品の黒豆と山の芋の特性に興味を抱き、十三年程前から年一回くらいのペースで気難しい作物の栽培指導を求め篠山参りをしております

喜代治氏と黒豆マイスターの山本博一氏から、ネパールに学校を建てた篠山ナマステ会を紹介されました。会はカトマンズから六十分離れた文盲率の高いカ

ブルバラチヨウク郡ガハテ村(八十四戸・人口六百人)に小学校を建設し、学校の運営支援と基礎教育の実践に力を注ぎ、自立に向けた支援を八年間続けているとの説明を事務局長の小嶋英毅氏より受けました。又、会員は八十名で、前記支援の他に会員・役員・中学生等が参加するスタディツアーも実施し、現地の村民、生徒、教師との親密な交流も図り、現地での指導員も育成している団体であることもお聞きしました。

た。そこで二〇〇八年に当初から指導していただいていたJ A 丹波黒豆部会長北川

一昨年、再会の機会に恵まれ、篠山ナマステ会設立の動機などお聞きし、根底堅固で意義の深いものと感じました。今後の支援対応などを懇談して親交を深めることも出来ました。事業計画を基本として円滑に事業を継続運営していくには、理念を共有する団体との連帯を保ち、情報交換などをする必要を常々考えたりしておりましたので、とても参考になりました。

平成二十三年四月の総会に際し記念講演の講師の依頼を受けましたので、偉大な先達の活動と支援者の方々の善意の浄財により運営をしてきましたジャイチの二十三年間の歩みについてお話をさせて頂いた頂きました。

公的資金に頼らず、会員及び一般支援者からの募金によって活動をされている篠山ナマステ会の皆さんに敬意を表させて頂いただけでなく、今後、お互いに連携を図り質の高い支援活動に結びつくことを願っています。(理事長 小林淳)

### お願い



▶支援者作の品々

### 集めています

寄付品		使 途
帽子	帽子	レカリ・バシファント学校1年生用
	熊の編みぐるみ・タワシなど	バザー出品用
毛糸	熊の編みぐるみ・タワシなど	バザー出品用
布	通学カバンを縫います	レカリ・バシファント学校低学年用
書き損じハガキ	切手に替えます	通信費 前回は15,691円分の切手と交換できました。
古切手	換金します (切手の周りを5mm残してください)	維持費へ

### 募集予告

- 「JAITI」ネパールの農場と学校訪問の旅
- 日程 十一月初旬
- 費用 八泊十日の予定 二十八万円を予定
- 最小催行人員 十名
- 主催 (株)西遊旅行
- 企画 ジャイチ

### 物故者のお知らせ

ご冥福をお祈りしますと共に今までのご支援に感謝いたします。

- 新井海一郎様 ○九年 栃木県佐野市
- 川上 孝一様 十一年二月 千葉県佐倉市
- 飯本 信行様 十一年四月 北海道札幌市
- 稲田 宏之様 十一年五月 東京都大島町
- 小原 晴子様 十一年 神奈川県厚木市
- 天野 進様 十一年七月 東京都世田谷区
- 山岸猪久馬様 十一年八月 長野県上田市
- 川原昭太郎様 十一年九月 東京都稲城市
- 福田 興次様 十一年 熊本県水俣市

### 編集後記

これまで掘り溜めていたテレビ番組の録画の中から、ネパールでの取材による番組がありました。また、私がジャイチに関わる以前のものでした。当時は、何のこだわりもなく録画しておいたものですが、先日、まだ再生していないことに気づき見てみると、なんと、この間初めて訪れたネパールの光景はもろろん、アルジュン社長さん、サンセットビューホテルのスタッフ、そしてポカラで偶然お会いすることの出来た宮原さんなどがテレビの画面に、滞在中お世話になった人々と再会(っ)できたと思っ嬉しいひとときでした。(丸山記)